

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎年度:削減効果指標 ★年度:進ちよく指標
1	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	洛西地域におけるバス利便性の向上	洛西地域を運行するバス・鉄道事業者の連携により、複数事業者のバスダイヤ、系統、乗場、案内表示の一元的な見直しを図り、地域の公共交通の利便性を向上させ、他地域の事業者の連携モデルとします。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施	○平成23年3月に実施 ○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の検討 ○洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループへの参加	6.8(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)	5.4(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)		
2	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	京都駅南口駅前広場の整備	京都市内最大のターミナルである京都駅の南口駅前広場を、「使いやすい」「やさしさ」「美しさ」「おもてなし」「賑わい」を実感できる駅前広場としてリニューアルします。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input checked="" type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○検討	○各施設の規模・形状の検討 ○交通量調査(5月)	26.5(0)	103(55.7)	○工事着手	
3	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	市内共通乗車券の創設	鉄道・バス事業者のネットワークを最大限に生かし、市内の電車・バスが乗り降り自由となる、使い勝手の良い乗車券(京都フリーバス)を創設します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○京都フリーバスの創設	○見直し・充実 ○平成22年12月に創設した「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』京都フリーバス」の利用範囲、発売箇所、特典施設拡大に向けた検討	6.8(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)	5.4(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)		
4	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	駅などのバリアフリー化の推進	高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが公共交通を利用して円滑に移動できるユニバーサル社会の実現を目指して、駅などの旅客施設及びその周辺の道路などのバリアフリー化を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○駅などのバリアフリー化の推進	○「京都市交通バリアフリー推進検討会議」の設置(7月) ○「京都市交通バリアフリー推進検討会議」の開催(7月)	9(0)	18(0)		★市内公共交通の乗降客数(単年度値) 2009年度:520.5百万人 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
5	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	パークアンドライドの広域展開と観光地交通対策の実施	市中心部及び観光地への自動車流入の抑制を図るため、近隣自治体との連携によるパークアンドライドを広域的に展開するとともに、観光シーズンを中心に、京都府警などと連携し、嵐山地区及び東山地区における臨時交通対策を含めた交通対策を実施することにより、歩行者の安全・快適性の確保と交通の円滑化を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○観光ピーク期のパークアンドライドの実施 ○東山地区、嵐山地区における交通対策 ○パークアンドライドの通年実施	○京うららパークアンドライドの実施(4月) ・タイムズ桃山六地藏住宅博パーク＆ライドの実施(平成22年10月～) ・タイムズ西大路御池駅前パーク＆ライドの実施(平成23年4月～) ・タイムズ京阪六地藏駅前パーク＆ライドの実施(平成23年7月～) ○観光地交通対策の実施に向けた関係機関との協議	24.4(2.4)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)	28.7(6.7)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)		

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	施策	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	才◎年度:削減効果指標 ★年度:進ちよ指標
6	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	公共交通不便地域の対応策に関する検討	モデル地域において、地域住民、交通事業者、行政が連携を図りながら、ワーキンググループを設置し、アンケート調査などを通じて、生活交通の維持に向けた仕組みづくりなど、公共交通不便地域のあり方を検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○対応策の実施				
						イ進捗状況	・雲ヶ畑地域における生活交通を確保するための、地元住民との協議の継続	6.8(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの連携強化の一部を充当)	0			
7	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	交通情報通信システムの開発	バス車内における目的地到着予定時刻案内、乗継ぎ案内などの交通情報や目的地周辺の最新の観光情報を提供し、利便性を向上させるシステムを開発します。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 ■着手前	計画	○検討	○システム開発				
						イ進捗状況	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	0(0)	0(0)			
8	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	東大路通の自動車抑制と歩道拡幅	多くの市民、観光客が訪れる東大路通などにおいて、歩行空間の拡大と交通安全性の向上及び自動車交通の抑制を図ります。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 ■企画構想段階 □着手前	計画	○検討				○工事着手	
						イ進捗状況	○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議	3(0)	3(0)			
9	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	四条通の歩道拡幅と公共交通優先化	市内最大の繁華街である四条通を中心とする都心地域において、歩道拡幅による快適な歩行空間の確保とマイカーから公共交通への転換を図ります。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 ■企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○工事着手				
						イ進捗状況	○第2回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(平成22年度の社会実験の結果報告)(7月) ○四条通の都市計画決定に向けた法定説明会の開催(9月)	17(9.4)	32(14)			
10	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	未来の公共交通の充実	新しい公共交通システム(LRT、BRT)の導入検討	高い速達性と定時性、需要に見合った輸送力を併せ持つLRT(次世代型路面電車)やBRT(バス高速輸送システム)などの新しい公共交通システムの実現に向け検討します。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 ■企画構想段階 □着手前	計画	○らんなん進都における新しいバスシステムの検討・導入 ○LRTの検討					
						イ進捗状況	○未来の公共交通推進会議の開催に向けた関係者との協議	6(0)(「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進の一部を充当)	30(20)(「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進の一部を充当)			
11	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	パークアンドライドの通年実施	郊外駅周辺の駐車場にクルマをとめ、公共交通に乗り換えることにより、都心地域に流入する自動車を減らすパークアンドライドを通年で実施します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○通年実施の充実					★パークアンドライド通年実施箇所の収容台数(累積値) 2010年度: 2011年度:4,001台分(1月現在) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○パークアンドライドの通年実施 ○京うららパークアンドライドの実施(4月)	24.4(2.4)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)	28.7(6.7)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)			
12	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	駐車場施策の見直し	駐車需要に応じた駐車施設の適正な配置を図るとともに、歩くことを中心としたまちと暮らしの実現に寄与するよう自動車流入の抑制を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○駐車場条例の改正	○見直し・充実				
						イ進捗状況	○平成23年(2011)5月1日から施行	1.5(0)	0(0)			

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎年度:削減効果指標 ★年度:進ちよく指標
13	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	タクシー交通の位置付けの明確化と効果的な活用を検討	タクシー駐停車マナーの向上や大量の空車タクシー走行による環境負荷低減に向けた具体策を検討します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○タクシー駐停車マナー向上の取組	○見直し・充実			
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○経営者向けセミナーや駐停車マナー向上アンケートの実施に向けた協議、調整				
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	17(9.4)(「『歩いて楽しいまちなか戦略』の推進」の一部を充当)	32(14)(「『歩いて楽しいまちなか戦略』の推進」の一部を充当)			
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円					
14	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	ロードプライシングの検討	特定の道路利用に対して直接的に課金し、交通需要を管理する方法であるロードプライシングの導入可能性について検討します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○未来の公共交通推進会議の開催に向けた関係者との協議				
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	6(0)(「『歩くまち・京都』総合交通戦略の推進」の一部を充当)	30(20)(「『歩くまち・京都』総合交通戦略の推進」の一部を充当)			
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円					
15	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	交通条件の公平化の検討	商業施設などにおいて、公共交通利用者へのサービス提供を進めるための制度の創設について検討します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討				★公共交通利用者へのサービス提供を行う商業施設などの数(累積値) 2011年度:4件(相談) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○高島屋京都支店での100円循環バス乗車券の配布 ○商業施設等において実施される公共交通利用促進策に対し、付置義務台数引き下げ規定を創設。(現在、4施設から適用について相談を受けている。) ○自家用車から公共交通機関への利用転換を促進するため、公共交通利用促進策の充実に向け検討中。				
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	1.8(0)	0(0)			
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円					
16	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	カーシェアリングの更なる普及	複数の会員が自動車を共同利用するカーシェアリングの更なる普及により、自動車の保有台数と走行距離の減少を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○実施			◎市内自家用車保有台数(累積値) 2009年度:51.2万台 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○カーシェアリング事業の実施を通じて、普及のための課題の抽出、把握				
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	7.1(0)	8(0)			
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円					
17	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	歩行者と共存可能な自転車利用環境の整備	自転車利用環境の整備	行政と事業者の連携協力による自転車等駐車場の整備や、自転車道や自転車レーンまたは既存の自転車歩行者道等の改築などによる通行環境の改善を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○自転車等駐車場の整備 ○自転車通行環境の整備				★自転車事故件数(単年度値) 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度: ★本市関連の自転車等駐車場の収容台数(累積値) 2010年度:42,222台 2011年度:43,719台(9月末現在) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 ・無料駐輪場の有料化再整備 ・道路占用による整備  ○自転車通行環境の整備 自転車通行環境整備プログラムの作成に向けた実験データ等の分析及び関係機関との協議を実施				
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	28.0(0)	28.0(0)			
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円					

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎年度:削減効果指標 ★年度:進ちよく指標
18	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にすライフスタイルへの転換)	『「歩くまち・京都」憲章』の普及・啓発	学校教育, シンポジウム, イベント, 商業施設などでの普及・啓発	パンフレットや啓発グッズなどの配布, アナウンスやイメージ映像の放送などにより, 学校, シンポジウム, イベント, 商業施設などにおける継続的な普及・啓発活動を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施	○見直し・充実				
						イ進捗状況	○イベントを通じた普及啓発の推進 ・「京都地下鉄まつり」(5月) ・左京ふれあいまつり(7月) ・醍醐ふれあいプラザ(9月) ○学校で活用する小学生環境副読本や「子ども版環境家計簿」などもエコライフチャレンジ冊子に「歩くまち・京都」憲章について掲載し, 全小学校に配布。					
						ウ予算額(うち国)百万円	36(21.4)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)の一部を充当)	55(40)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)の一部を充当)				
						エ決算額(うち国)百万円						
19	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にすライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	広報媒体などを活用したモビリティ・マネジメント	クルマ利用者に対して, ウェブサイトや広報媒体などを活用した啓発やアンケートなどのコミュニケーション手段を通じ, 自発的な交通行動の変化を促します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施	○見直し・充実				
						イ進捗状況	○市民しんぶん(8月15日号)への掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」番組内に「歩くまち・京都タイム」コーナーを設置(9月5日～12月2日, 月曜～金曜)) ○義務教育9年間を通して, 環境教育を系統的に, また教科等を超え横断的・総合的に展開できる「京都市環境教育スタンダード」及び「同ガイドライン」を活用し, 全小学校で環境に関わる学習を展開。					
						ウ予算額(うち国)百万円	36(21.4)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)の一部を充当)	55(40)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)の一部を充当)				
						エ決算額(うち国)百万円						
20	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にすライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「市民」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	市民を対象に, 「家庭」「学校」「職場」などあらゆる機会を通じて, 公共交通情報マップの配布やアンケート, 環境学習の一層の推進, エコ通勤の推進などを実施し, 交通行動スタイルの見直しを促します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施	○見直し・充実				
						イ進捗状況	○「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)アンケートの実施(対象数:20,135人) ○地住民や大学, 企業等と連携した参加型モビリティ・マネジメントの実施(3事業)					
						ウ予算額(うち国)百万円	36(21.4)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)の一部を充当)	55(40)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)の一部を充当)				
						エ決算額(うち国)百万円						
21	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にすライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「観光客」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	京都市への観光客を対象に, クルマを使わない観光の優位性を伝えることにより, 公共交通を利用した観光を呼び掛けます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施	○見直し・充実				
						イ進捗状況	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(3月～5月) ○「公共交通でまわる京都観光マップ」の充実に向けた検討 ○「市営駐車場」におけるモビリティ・マネジメントの充実に向けた検討					
						ウ予算額(うち国)百万円	1.8(0)+{36(21.4)}(一部)	1.8(0)+{55(40)}(一部)				
						エ決算額(うち国)百万円						

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎年度:削減効果指標 ★年度:進ちよく指標
22	4. エコカーへの転換	インフラ整備の推進	共同住宅、民間駐車場、商業施設などへの充電設備・水素ステーションの設置に対するインセンティブの付与の検討	民間事業者などによる充電設備や水素ステーションの設置に対してインセンティブを与える制度の創設や、新築建築物への充電設備の導入を進める仕組みを検討し、エコカーの普及に向けたインフラ整備を推進します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討	○対応策の実施			★EV用充電設備設置数(累積値) 2010年度:106基 2011年度:126基(7月末) 136基(12月8日) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					イ進捗状況	○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討			0(0)	0(0)	
23	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	特定事業者への導入義務化	条例に基づく特定事業者に対して、事業用の自動車を購入(リースを含む)する際に、一定割合以上をエコカーとすることを義務付けます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施			○見直し・充実	◎電気自動車及びプラグインハイブリッド車の普及台数(累積値) 2009年度:43台 2010年度:130台 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					イ進捗状況	○制度開始 ・新車購入等報告書(H22年度報告書は状況調査のため非公表)をH23.9月末までに提出を求め、計画期間中(H23～25年度)に取得する新車の総台数に対するエコカーの割合を50%以上選択することを促す。			7.5(0)	7.7(0)	
24	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	自動車販売店に対するエコカー販売実績報告の義務化	自動車販売事業者に対して、エコカーの販売実績を報告することを義務付けます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施			○見直し・充実	◎自動車燃費【販売ベース】(単年度値) 2009年度:18.1km/L 2010年度:18.7km/L 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					イ進捗状況	○制度開始 ・顧客への新車販売時に自動車環境情報の説明、エコカー販売促進及び、新車販売実績報告書(H22年度報告書は状況調査のため非公表)をH23.9月末までに提出を求め、エコカーの普及促進を図る。			7.5(0)	7.7(0)	
25	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	電動バス・ハイブリッドバスなどの導入促進	次世代EV(電動)バスの実証実験などを踏まえたEVバスの実用化を進めるとともに、環境にやさしいハイブリッドバスの導入を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討		○導入		
					イ進捗状況	(EVバスの実証実験) ○途中充電のための停車に伴う乗客の意識調査と途中充電を踏まえた電動バスの走行距離の検証を行うための、EVバス運行に関する実証実験を実施計画中。  (ハイブリッドバスの導入) ○H23年度以前から導入			237(6)	972(0)	

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	才◎:削減効果指標 ★:進ちよく指標
26	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	特定建築物への地域産木材の利用義務化	条例に基づく特定建築物(延床面積2,000m <sup>2</sup> 以上の新増築建築物)の建築主に対し地域産木材の利用を義務付けます。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input checked="" type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○実施 ○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換(4月~)	0(0)	0(0)	○見直し・充実	★特定建築物における地域産木材利用量() 2010年度:制度開始前 2011年度:制度開始前 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
27	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	公共施設への地域産木材の率先利用	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、地域産木材を積極的に利用します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○京都市公共建築物低炭素仕様の改訂(6月) ○市営住宅建設の基本計画の策定推進。 ○動物園「おとぎの国」遊歩道(木道)他(4月)	0(0)	0(0)		★公共施設における地域産木材利用量() 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
28	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	「CASBEE京都」による環境性能の評価が高い建築物の普及促進	京都らしい環境配慮建築物を適切に評価、誘導するためのシステムである「CASBEE京都」の表示を推奨(延床面積2,000m <sup>2</sup> 以上の特定建築物は義務化)し、環境性能の高い建築物の普及を図ります。さらに、既存建築物の評価システムの整備を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○CASBEE京都の策定 ○認証制度の創設 ○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査(4月~) ○CASBEE京都(既存、改修)の策定業務、CASBEE京都の普及啓発にかかる検討(6月~)	3(0)	1(0)	○見直し・充実	◎CASBEE京都評価届出件数【非住宅】(累積値) 2010年度:0件 2011年度:17件 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
29	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	低炭素景観の保全・創造	歴史まちづくりの推進、京町家などの保全・再生・活用を促進するための情報の受発信の仕組みなど様々な保全・活用策を講じることにより、既存建築物の有効活用を図るとともに、地域の特性に応じたきめ細かなデザイン規制や時代の誘導など、長く親しまれる建築物による市街地景観の形成を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○実施 ○市民とともに創造する景観づくりに関する仕組みの整備やデザイン基準の更なる充実、遠景デザイン保全区域の見直しなど、更に進化した景観政策を施行(4月) ○景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物の指定:6件(9月末現在) ○歴史的な町並みの保全・再生に係る補助:37件(9月末現在)	129(47)	127(47)	○見直し・充実	
30	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	「平成の京町家」の普及促進	伝統的な京町家の知恵と現代な環境技術が融合した京都型環境配慮住宅である「平成の京町家」の普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 イ進捗状況	○平成の京町家普及促進事業 ○一般型(伝統構法以外の「平成の京町家」)に対する補助開始(4月) ○設計ガイドライン作成事業への参加事業者の公募(12社が応募)(6月) ○認定第1号住宅構造見学会の支援(主催:事業者)(7月) ○認定第1号住宅完成見学会の支援(主催:事業者)(9月) ○一般型の認定1件、補助1件 伝統型の認定0件、補助0件(9月末現在)	18(4)	37.3(6.75)	○見直し・充実	★平成の京町家認定戸数(単年度値) 2010年度:一般型2件 2011年度:一般型2件, 伝統型1件(1月現在) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進ちょく指標	
31	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなどの利用	木質ペレットストーブ・ボイラー・吸収式冷水水器の普及推進	木質ペレットを燃料とするストーブ、ボイラー、吸収式冷水水器を普及推進するため、導入支援策を実施します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○木質ペレットストーブ等普及促進事業				○見直し・充実	◎地域産木質ペレット利用量(単年度値) 2010年度:80トン 2011年度:100トン(9月末) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○木質ペレットストーブ等普及促進事業実施(6月~) ○木質ペレットストーブ20台、木質ペレットボイラー0台(9月末現在)	19(19)	35(0)			
32	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなどの利用	木質ペレットなどの公共建築物への率先利用	京都市及び関係機関において、木質ペレット及び地域産木材を使った物品を積極的に利用します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など					◎地域産木質ペレット利用量(単年度値) 2010年度:80トン 2011年度:100トン(9月末) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○職員用名札を111枚作成(6月) ○ペレットボイラー(温室用ヒーター)1箇所導入予定 ○ペレット炊き吸収式冷水水発生器(35.3Kw×1基)の設置	3.5(3.5)	3.5(3.5)			
33	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなどの利用	間伐材の供給に対する助成	木質ペレット原料用の間伐材の供給に対する助成制度を創設し、間伐材の需要拡大と森林の適切な整備を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				○見直し・充実	★木質ペレット原料用間伐材供給助成件数(単年度値) 2010年度:0m3 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○木質資源利用促進事業:ペレットの原料となる間伐材の搬入実施(7月~)	5(0)	5(0)			
34	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	地域産木材ストック情報システムの整備	京都市地域産木材の利用促進を図るために、木材業界と連携し、工務店が必要とする木材について、供給状況が分かるストック情報システムを構築します。	□実施済み又は本格実施中	計画	○検討 ○地域産材普及供給体制整備事業					
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○「木の文化を具現化する推進委員会」開催準備 ○「地域産材ストック情報システム検討委員会」開催準備	2(0)	2.6(0)			
35	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	ウッドマイルージなどの評価	木材の産地から消費地までの輸送距離から算出される木材輸送に伴う二酸化炭素排出量(ウッドマイルージ)を評価します。さらに木質ペレットを含め、木材の生産から流通消費までを市民に見える形で評価し、情報発信する方法を検討します。	□実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 ■着手前	イ進捗状況	検討中					
36	2. 森林の適切な保全	森林整備	健全で多様な森林の育成	森林整備事業などによる健全な森林づくり、とりわけ間伐の必要な森林や放置された森林の整備の推進と森林認証制度の普及に努めるとともに、長伐期林、複層林、広葉樹林など多様な森林の整備を進めます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○森林整備事業の推進				○見直し・充実	◎森林面積(天然生林、育成林)(累積値) 2010年度:30,017ha 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○森の活性化・利用対策 ~地球温暖化防止森林吸収源対策~:間伐及び作業路整備を実施(4月~) ○森林バイオマス活用推進事業:間伐及び作業路整備を実施(4月~)	80.9(0)	64.3(0)			

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進捗よく指標	
37	2. 森林の適切な保全	森林整備	三山森林景観保全・再生ガイドラインの推進	三山の森林景観を保全・再生するためのガイドラインに基づき、市民や事業者との協働による森林景観づくりを推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○ガイドラインに基づく森林景観づくりの推進				○見直し・充実	
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」の策定(5月)					
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	1(0)	11(5)				
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円						
38	2. 森林の適切な保全	森林整備	森林整備の担い手となる人材の育成・確保	林業労働者の社会保障制度や技術研修制度の充実、森林組合などにおける森林整備班の養成を行うことにより、林業の担い手を確保し、森林整備に必要な体制の整備を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○林業担い手対策事業				○見直し・充実	★林業労働者長期就労日数(0) 2010年度:11,627日 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施					
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	12.656(0)	13.085(0)				
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円						
39	2. 森林の適切な保全	林業の振興	施策集約化の推進	地域産材を安定供給できる体制づくりを目指して、伐採、造林、保育を一体的、計画的、効率的に行う施策の集約化を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○地域産材を安定して供給できる体制の構築				○見直し・充実	◎森林面積(天然生林、育成林)(累積値) 2010年度:30,017ha 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月~)					
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	89.972(0)	92.201(0)				
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円						
40	2. 森林の適切な保全	林業の振興	林業経営の効率化と低コスト化の推進	林業の生産性を高め、経営の効率化を図るため、密度の高い林内路網の整備と、地形・立地に適した高性能林業機械の導入を進めます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○密度の高い林内路網の整備、高性能林業機械の導入				○見直し・充実	
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月~) ○高性能機械1台導入(予定)					
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	89.972(0)(再掲)	100.201(0) ※うち92.201は再掲				
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円						
41	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	森づくりサポーターの拡充	市街地周辺三山などの里山や京北合併記念の森を中心に、市民などの参画による森林の保全・整備などの活動を展開します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○伝統文化の森推進事業				○見直し・充実	★森づくりサポーター登録者数(累積値) 2010年度:14団体 2011年度:15団体(9月末) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(5月)					
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	0.93(0)	3(0)				
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円						
42	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	里山など森林を活用した環境学習事業の展開	市民・事業者・大学参画による生態系保全型の森づくりシステムを構築し、豊かな農林資源を活用した環境学習などに活用する森林整備を行い、そのシステムを民有林全体に推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○生態系保全型の森づくりシステムの構築				○見直し・充実	★環境学習活動の実施回数(単年度値) 2010年度:0回 2011年度:1回 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○森林の現状に係る市民への普及啓発:森林ウォークの実施(7月)					
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)百万円	0(0)	0(0)				
					□着手前	エ決算額(うち国)百万円						



No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	才◎:削減効果指標 ★:進ちよ指標	
43	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	特定緑化建築物への緑化義務化	条例に基づく特定緑化建築物(敷地面積1,000㎡以上の新築・改築建築物)について、建築物及び敷地の緑化を義務付けることにより、市街地の緑化を推進します。	計画						★特定緑化建築物数(累積値) 2010年度:制度実施前 2011年度:制度実施前 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:	
					イ進捗状況	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換(4月~)	0(0)	0(0)				○見直し・充実
44	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	公共施設の緑化の推進	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、緑化を積極的に推進します。	計画	○実施					○見直し・充実	
					イ進捗状況	○市営住宅建設の基本計画の策定作業の推進。 ○屋上緑化:左京区総合庁舎(69㎡)、南区小中一貫教育校(仮称)(435㎡)(工事中)、朱雀第四小学校(エコ改修)(47㎡)(工事中)、動物園(ネコワールド)(76㎡)(工事中)、動物園「おとぎの国」(64.28㎡)(4月) ○壁面緑化:南区小中一貫教育校(仮称)(36.4㎡)(工事中) ○校庭の芝生化:元町小学校(中庭約160㎡)、藤森中学校(運動場1,890㎡)※追加工事、桃陽総合支援学校(中庭約240㎡) ○グリーンカーテン:学校施設232校、その他の公共施設で実施(小:153校、中:57校、総:6校、幼:16園)	0(0)	0(0)				
45	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	屋上緑化・壁面緑化に対する助成の充実	住宅や事業所などの民有地における緑化に対して助成することにより、民有地緑化の推進を図ります。	計画	○緑のまちなか緑化助成事業					○見直し・充実	★緑のまちなか緑化助成件数(単年度値) 2010年度:15件 2011年度:19件(9月末) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					イ進捗状況	○屋上緑化:4件, 54㎡, 助成540千円 ○壁面緑化:4件, 96㎡, 助成443千円 ○地上緑化:11件, 163㎡, 助成750千円 ※平成23年9月末現在	6(0)	5,76(0)				
46	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	市民などとの協働による民有地緑化の推進	緑が少なく、緑化余地も少ない中心市街地において、緑化を義務化することにより、民有地緑化の推進を図ります。	計画	○検討					○中心部における緑化義務化	
					イ進捗状況	検討中						
47	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	市民農園の整備などによる農地の有効活用	地域主導の市民農園モデルとなる総合体験型市民農園を整備し、市民が参加できる環境にやさしい都市型農業を振興します。	計画	○実施					○見直し・充実	★市民農園区画数(累積値) 2010年度:3693区画 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					イ進捗状況	○総合体験型市民農園付帯設備(クラブハウス、ハイオトイレ等)の設置(6月~9月) ○総合体験型市民農園開園(9月)	7.01(0)	10.5(0)				

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	才◎:削減効果指標 ★:進ちよく指標
48	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	鴨川を幹とした風の道づくり	河川を幹として、緑の適切な配置により郊外から清涼な風を都市に送り込む、「風の道」を形成することにより、ヒートアイランド現象の緩和を推進します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施				○見直し・充実
					イ進捗状況	○検討中					
						<small>ウ予算額(うち国)百万円</small> <small>エ決算額(うち国)百万円</small>					
49	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水と緑のネットワークづくり	市街地周辺の山々や農地の緑、中心市街地における街路樹などの緑と、市内を貫流する河川の軸を骨格とした水と緑のネットワークを形成します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施				○見直し・充実
					イ進捗状況	○「道路の森づくり」御池通(天神川～西大路通):ケヤキ49本、サルスベリ4本(1.4 km)植栽 16(0)	34(0)				
						<small>ウ予算額(うち国)百万円</small> <small>エ決算額(うち国)百万円</small>					
50	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水を活用した取組の推進	水の気化熱を利用して周辺の気温を下げる「打ち水」の実施拡大や、「ミスト装置」の普及促進に取り組み、ヒートアイランド現象の緩和につなげます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施				○見直し・充実
					イ進捗状況	○京都駅にて「DO YOU KYOTO?」プロジェクト『打ち水』(7月) ○上下水道局本庁前及び下水道部管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2011実施(8月) ○可動式のドライ型ミスト装置2台を、通常は動物園に設置し(5月7日～10月2日)、イベント時には会場に移設(10箇所) ○100箇所の保育所、幼稚園及び市立小・中学校に、簡易型ミスト装置をモニター設置(7月1日～9月30日) 7(0)	7(0)				
						<small>ウ予算額(うち国)百万円</small> <small>エ決算額(うち国)百万円</small>					★打ち水実施数(単年度値) 2010年度:1 2011年度:1 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進ちょく指標		
51	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	「DO YOU KYOTO?クレジット(仮称)」制度の創設	国内クレジット制度やオフセット・クレジット制度などの国の制度の活用に加え、地域コミュニティや中小事業者が取り組みやすい京都独自のクレジット制度を創設し、温室効果ガス削減量という環境価値を「見える化」し、経済的に評価することにより、地域で循環・流通させる仕組みを構築します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施				◎クレジット化された削減量(累積値) 2010年度:0トン 2011年度:0トン 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:		
						イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月) ○省エネに取り組む中小事業者の募集開始(8月~) ○省エネに取り組むコミュニティの募集開始(1次8月~、2次10月~)						
						ウ予算額(うち国)百万円	14.2(0)	19.525(0)					
52	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	特定建築物への再生可能エネルギーの導入義務化	条例に基づき、特定建築物の建築主に対し、太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利用設備の設置を義務化します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input checked="" type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施				◎太陽光発電設備の発電出力(累積値) 2010年度:13.6千kW 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度: ◎再生可能エネルギー設備の導入量(累積値) 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:		
						イ進捗状況	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換(4月~) ○太陽光発電設備44kw(1月現在)						
						ウ予算額(うち国)百万円	0(0)	0(0)					
53	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	事業者排出量削減計画書制度における評価	条例に基づき、特定事業者に義務付けられている、温室効果ガス排出削減のための計画・報告書を市に提出する制度において、再生可能エネルギーの利用を評価します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○実施			○見直し			
						イ進捗状況	【義務制度開始】 ○事業者排出量削減計画書(H23~H25年度)をH23.9月末までに提出を求め、計画期間中(H23~25年度)に取り組まれる再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給について、温室効果ガス排出量から差し引いて評価を実施。						
						ウ予算額(うち国)百万円	7.5(0) 事業者排出量と同じ	7.7(0) 事業者排出量と同じ					
54	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	太陽光発電設備及び太陽熱利用設備の導入に対する補助などの実施	太陽光発電設備などを設置する市民に対し、補助や融資を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○補助(太陽光発電設備)	○太陽熱利用設備設置支援の検討			○見直し		
						イ進捗状況	○助成の実施・申請件数:単年度1,038(累計3,344)件 ・設置件出力:単年度4,056(累計11,880)kW(平成24年9月末日現在)						
						ウ予算額(うち国)百万円	211.1(0)	195.9(0)					
55	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	市民協働発電制度の実施	市民など協働で太陽光発電設備を設置する仕組みを構築します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討				○実施	◎太陽光発電設備の発電出力(累積値) 2010年度:13.6千kW 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:	
						イ進捗状況	○京のアジェンダ21フォーラム制度勉強会の開催を検討						
						ウ予算額(うち国)百万円	0(0)	5.8(0)					



No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	才◎:削減効果指標 ★:進ちょく指標	
61	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	下水汚泥(メタンガス)の有効利用	下水汚泥からメタンガスを取り出し、燃料としての有効利用を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○利用方法等の検討					
						イ進捗状況	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ○下水汚泥から発生する脱水ケーキを東部クリーンセンターで混焼し、ごみ発電に利用 ・利用量(約24%) (メタンガス:1,137,290 Nm <sup>3</sup> (1,356 ds-t)約9%, 脱水ケーキ:3,516 t(2,347ds-t)約15%) ※ 対象期間汚泥量 約15,031 ds-t					
						予算案額(うち国)百万円 0(0) 決算案額(うち国)百万円 0(0)						
62	2. 地域におけるエネルギーマネジメント	スマート・コミュニティの構築	らくなん進都、岡崎地域等における新たなエネルギーマネジメントシステムの構築	情報通信技術を活用して再生可能エネルギーを地域内で融通し合うスマートグリッドの構築に加え、交通の最適化や地域ぐるみのエコ行動の促進を含めたスマート・コミュニティの研究を行い、実証を進めます。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input checked="" type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討	○推進				
						イ進捗状況	○「スマートシティ京都研究会」の開催(2回:6月・8月) ○岡崎地域、らくなん進都、職住共存地域分科会の開催(4回:4月, 8月3回) ○「スマートコミュニティ構想普及支援事業(経済産業省)」へ公募提案書提出(8月)					
						予算案額(うち国)百万円 6.5(0) 決算案額(うち国)百万円 11.5(0)						
63	2. 地域におけるエネルギーマネジメント	スマート・コミュニティの構築	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	新たな都市計画マスタープランを策定し、地域ごとの特性を生かすための多彩で個性的、かつ秩序ある土地利用の展開や地球環境への負荷の少ない集約的な都市機能の配置を図り、様々な都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画		○都市計画マスタープラン策定、推進				
						イ進捗状況	○新たな「京都市都市計画マスタープラン」策定の実施					
						予算案額(うち国)百万円 10.5 決算案額(うち国)百万円 0(0)						

No	推進方針	具体的施策	具体的取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進捗指標
64	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	京朝スタイルの普及	「太陽が昇ったら起きて、沈んだら寝る」という自然のサイクルに沿った、京都発の、健康的で環境にもやさしい朝型のライフスタイルを推奨する取組である「京朝スタイル」の普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○事業実施(京朝スタイル月間の取組)	○見直し・充実		○見直し・充実	★市民生活実感調査 (省エネや省資源に取り組むお店や買い物客、公共交通機関を利用する人が増えている。) (単年度値) 2010年度:46.3% 2011年度:56.5% 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○朝講座の開設(9~10月) ○Facebook及びホームページでの朝に関する情報発信(7月~)			1.0(0)	
65	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	多様なメディアを積極的に活用した普及啓発	印刷物への掲載や広報発表に加えて、インターネットやテレビなど、市民に深く浸透しているメディアを積極的に活用した普及啓発を推進します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input checked="" type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討	○実施			2010年度:46.3% 2011年度:56.5% 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○DO YOU KYOTO? ホームページの制作の検討			1.5(0)	
66	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「DO YOU KYOTO? デー」における取組の推進	京都議定書が発効した2月16日を記念し、毎月16日を「DO YOU KYOTO? デー」と定め、この日を中心にライトダウンやノーマイカーデーなど、環境にやさしい取組を市民や事業者とともに実践します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト147万人推進事業			○見直し・充実	★京灯デザイナー参加者数(累積値) 2010年度:25箇所 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度: ★ライトダウン参加者数(累積値) 2010年度:626箇所 2011年度:629箇所(9月末) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト関連事業への参加者37,575人、協力749社 ○「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスの運行			15.8(0)	
67	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「大学のまち京都・学生のまち京都」の学生の力を活用したエコ活動の推進	人口の約1割に当たる学生が在籍する京都の特性を踏まえ、学園祭などのイベントにおける京都市との協働など、学生の力を活用した取組を推進します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 着手前	計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施	○実施			★協力大学数() 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○学生祭典への支援			6.5	
68	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	エコドライブの推進	燃料消費量の少ない運転方法であるエコドライブについて、広く一般ドライバーへの普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○エコドライブ推進事業			○見直し・充実	◎エコドライブ宣言者数(累積値) 2009年度:5.1万人 2010年度:7.1万人 2011年度:7.9万人 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○エコドライブ教室の開催(6月)			7.0(0)	

No	推進方針	具体的施策	具体的取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進ちょく指標	
69	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	農林水産物の地産地消と「京の待ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及	旬の時期を待って地元食材を食べる「京の待ち食」の普及や、環境に配慮しながら「買い物」・「料理」・「片づけ」を行うエコクッキングなどの取組を通して、食材の生産・輸送・調理に使用するエネルギー量を低減し、環境負荷の小さい食生活の普及を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○森と海と暮らしの連携プロジェクト、京の食文化普及啓発事業  イ進捗状況 ○地下鉄駅ナカ等において直売所を開設し、「京の待ち食」の啓発を実施(4月~) ○京エコロジーセンターにおけるエコクッキングの開催(18回) ○鴨川の天然アユの遡上数の確認(20,000尾)	○見直し・充実					◎削減効果指標 ★:進ちょく指標  ★市民生活実感調査 (省エネや省資源に取り組むお店や買い物客、公共交通機関を利用する人が増えている。) (単年度値) 2010年度:46.3% 2011年度:56.5% 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
70	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	歩行空間や自転車利用環境の整備	地球温暖化対策だけでなく、観光振興や健康面のサポートという観点から、徒歩や適正な自転車利用を推進するための環境の整備を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○京都一周トレイル運営など  イ進捗状況 ○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月~) ※全コースマップの日英併記化を完了(9月) ○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 ・無料駐輪場の有料化再整備 ・道路占用による整備 ○自転車通行環境の整備 自転車通行環境整備プログラムの作成に向けた実験データ等の分析及び関係機関との協議を実施	○見直し・充実					◎削減効果指標 ★:進ちょく指標  ★エコチャレ実施学童数(単年度値) 2010年度:11,200名 2011年度:11,100名 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
71	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	子どもへの環境教育の推進	子どもの夏休みや冬休みなどを利用して、家族ぐるみで省エネに取り組んでもらう「子どもエコライフチャレンジ」や、学校のエコスクール化などの取組を通して、将来を担う子どもたちへの様々な環境教育を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○子どもエコライフチャレンジ推進事業 など  イ進捗状況 ○「子どもエコライフチャレンジ」 全市立小学校にて実施 ○市立朱雀第四小学校エコ改修 建築工事契約(7月) 機械設備工事:(7月) 電気設備工事:(8月) ○屋上断熱等改修工事の実施	○見直し・充実					◎削減効果指標 ★:進ちょく指標  ★エコチャレ実施学童数(単年度値) 2010年度:11,200名 2011年度:11,100名 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
72	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	総合環境情報誌の作成・全戸配布	地球温暖化対策の視点を盛り込んだ総合環境情報誌を作成し、全戸配布を行うことにより、市民一人ひとりの意識啓発を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○配布・周知  イ進捗状況 ○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保存版」に係る追記版を市民しんぶん区版へ挟み込み、全戸配布を実施。(H23年3月)						
73	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	京エコロジーセンターを中心とするエコ学習の展開と人材育成	COP3開催の記念館である京エコロジーセンターを中心としてエコ学習を展開することにより、地球温暖化対策に対する意識の向上を図ります。また、京エコロジーセンターのボランティア活動を通して、環境問題に主体的に取り組む市民を育てていきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施  イ進捗状況 ○平成23年度以前から実施 ・環境ボランティア登録数: 136(エコメイト55, エコサポーター81)名	○見直し・充実					◎削減効果指標 ★:進ちょく指標  ★京エコロジーセンター来館者数(単年度値) 2010年度:68,881人 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:

No	推進方針	具体的施策	具体的取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進捗指標
74	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	エコ学区、エコ商店街、エコ大学など新たな「エコ・コミュニティ」の創設	地域活動の基本単位である学区や商店街を対象に、地球温暖化対策を地域ぐるみで集中的に取り組む「エコ・コミュニティ」を新たに創設するとともに、京都市の人口の約1割に相当する学生の力を活用した温室効果ガス排出量削減の取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 など	○見直し・充実			◎エコ学区における削減量測定の前定世帯数(単年度) 2010年度:0世帯 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○各区・支所管内で1箇所ずつ計14箇所のエコ学区を認定(7月)		29.3(0)	29.3(0)	
75	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	各区におけるエコ活動支援事業の推進	各区の環境パートナーシップ事業など、各区におけるエコ活動支援事業を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○各区環境パートナーシップ事業など			○見直し・充実	★実施イベント数(単年度値) 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○各区からの事業提案を審査し、助成金を交付(5月)		7(0)	7(0)	
76	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	既存住宅における省エネ改修の支援拡大の検討	自ら居住する住宅のエコリフォームを行う費用について、金融機関と連携して、低利率で融資をあっせんするなど、既存住宅を対象に、省エネ改修に対する支援の拡大を検討します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○実施 ※エコリフォーム推進事業 など		○見直し・充実	★省エネ化による固定資産税減額対象数() 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○エコリフォーム融資の創設及び受付開始(4月~)		45(0)	120(0)	
77	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	省エネ住まいアドバイザー制度の創設	住宅の省エネ改修について、技術的なアドバイスを行える人材を養成するとともに、京都らしい環境配慮の方策も含め、市民が安心して住宅の省エネ改修に関する技術的な相談を行える環境を整えます。	□実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○創設		○見直し・充実	
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○すまいよろず相談「環境」分野における実験的な相談業務及び効果検証(4月~)		0.03(0.0135)	0.03(0.0135)	
78	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	家庭における省エネ診断の拡充	省エネの専門家が専用のツールを用いて、各家庭の二酸化炭素排出状況を「見える化」し、削減余地の大きいものに対して集中的に対策の提案を行うなど、各家庭の様々なライフスタイルに応じたオーダーメイドの対策を実施し、確実な二酸化炭素削減を図ります。	□実施済み又は本格実施中	計画	○検討 ※環境家計簿はインターネット版で継続(インターネット版環境家計簿)	○実施			★省エネ診断実施数(単年度値) 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○①企業やグループ単位での取組を促進するため②お試し機能を追加し、気軽に取り組みやすくするため、インターネット版環境家計簿の改良を実施		0(0)	0(0)	
79	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	省エネラベル制度の拡充の検討	現在、エアコン・電気冷蔵庫・テレビ・蛍光灯照明器具・電気便座の5種類の家電製品を対象としている省エネラベル制度の拡充を検討します。	□実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○対象の拡大			★省エネラベル制度対象製品数(累積値) 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度: ◎高効率家電製品の普及台数【エアコン・冷蔵庫】 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	検討中				
80	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	既存住宅の環境配慮性能を表示する制度のあり方の検討	既存の住宅に対して、環境配慮性能を表示する制度のあり方を検討します。	□実施済み又は本格実施中	計画	○検討※CASBEE京都と住宅性能評価制度との整合を図る	○実施			★省エネ化による固定資産税減額対象数() 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会の開催を検討		0(0)	5.8(0)	



No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進捗よく指標
81	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	京都府・経済界との連携による「京都産業育成コンソーシアム」の設立	府・市・経済界の枠を超えた、「オール京都」による体制を構築し、環境、医療・健康、映画・コンテンツをはじめとする次代を担う成長産業の育成を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○「京都産業育成コンソーシアム」の設立 ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○産業人材育成共同プロジェクト、知恵産業推進共同プロジェクトの実施(6月~)	○共同プロジェクトの実施 など				
						予算(百万円) 0(0) 決算(百万円)	予算(百万円) 4(0) 決算(百万円)				
82	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	研究成果を生かした環境・エネルギー関連産業などの育成・振興	「環境ナノテクノロジー」をテーマに各種事業に取り組んできた京都環境ナノクラスター事業の成果を生かし、ベンチャー企業の創出や技術移転による事業化の促進を進めます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○京都環境ナノクラスター事業 ○京の環境みらい創生事業					
						予算(百万円) 643.5(580) 決算(百万円)	予算(百万円) 626.1(562.6) 決算(百万円)				
83	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	付加価値の高い新産業を創造する京都版SBIRの推進	新技術・新製品開発に取り組む市内中小事業者や中小・ベンチャー企業の新技術を利用した事業活動を支援するため、京都の地域プラットフォーム支援体制の強みを生かした研究開発段階から販路開拓までを一貫して支援する仕組み(Small Business Innovation Research)を推進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○検討	○創設				
						予算(百万円) 129.1(0) 決算(百万円)	予算(百万円) 124.3(0) 決算(百万円)				
84	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	低炭素社会の実現を先導する環境知恵産業(環境エネルギー関連産業)のブランド化	低炭素社会の実現に先導的な役割を果たす京都の環境・エネルギー関連産業の事業拡大支援と産業のブランド化を図ることを目的に情報発信を行います。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○調査・実態把握	○プロモーション				
						予算(百万円) 2.0(0) 決算(百万円)	予算(百万円) 0(0) 決算(百万円)				
85	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	カーボン・フットプリントの活用による環境価値の「見える化」の促進	原材料の調達から製造、輸送、消費後の廃棄に至るまでの過程で、電力や燃料の消費などを通してその商品が排出する温室効果ガスの量を積み上げ、二酸化炭素に換算して表示するカーボン・フットプリントの活用により、環境価値の「見える化」と低炭素商品の普及を促進します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○検討		○実施			
						予算(百万円) 0(0) 決算(百万円)	予算(百万円) 0(0) 決算(百万円)				
86	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	グリーン購入の促進	製品やサービスを購入する際に、環境への負荷が少ないものを選んで購入するグリーン購入について、事業者としての京都市が率先して取り組みます。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画 ○実施				○見直し・充実	
						予算(百万円) 0(0) 決算(百万円)	予算(百万円) 0(0) 決算(百万円)				

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進ちょく指標
87	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	高効率機器の導入に対する補助	中小事業者の地球温暖化対策と省コストによる経営基盤強化を実現する高効率機器の導入に対する補助を行います。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				◎高効率給湯機器の普及台数() 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前						
						15(6)	18(0)				
88	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	環境配慮活動に対する低利融資	環境に配慮した事業活動を行う事業者に対する低利融資制度の充実を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				○見直し・充実
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前						
						63(0)	64(0)				
89	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	低炭素型経済活動を推進する人材の育成と助言・診断の仕組みの充実	KESなどの環境マネジメントシステムの取組を促進するアドバイザーの派遣や、低炭素型経済活動を推進する人材の育成を図るセミナーを開催するとともに、「省エネ診断事業」をはじめとする事業者への支援の充実を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				◎見直し・充実
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前						
						9,243(0)	9,126(0)				★省エネ診断件数(単年度値) 2010年度:30件 2011年度:16件 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
90	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	ノンフロン製品(業務用冷蔵・冷凍機器など)の普及促進	強力な温室効果ガスである代替フロンを冷媒として使用しない業務用冷蔵・冷凍機器など、低炭素化につながる機器の優先導入に関する普及啓発を図ります。	□実施済み又は本格実施中	計画	○実施				○見直し・充実
					□実施前最終段階 □企画構想段階 ■着手前						
91	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	事業者排出量削減計画書制度における総合評価制度の導入と低評価の場合の追加削減対策	特定事業者に作成及び提出を条例により義務付けている事業者排出量削減計画書制度において、排出削減量(率)、エネルギー効率改善、削減対策の取組内容、低炭素型社会の形成に貢献する製品・サービスの供給など、事業活動の低炭素化に向けた取組を総合的に評価し、自主的な排出削減の更なる促進を図ります。 また、削減対策が不十分な低評価の特定事業者に対しては、クレジットの購入によるカーボン・オフセットの実施を促すなど、追加削減対策の指導助言を行います。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				◎見直し・充実
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前						
						7.5(0)	7.7(0)				◎特定事業者制度報告書における総排出量(単年度値) 2010年度:152.7万トン 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進捗よく指標		
92	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	環境マネジメントシステムの導入義務化	特定事業者に対して、事業活動の低炭素化に向けた取組を強力に促すため、環境マネジメントシステムの導入を義務化します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				○見直し・充実		
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○義務制度の開始・環境マネジメントシステム導入報告書(H22年度報告書は状況調査のため非公表)をH23.9月末までに提出を求め、計画期間中(H23~25年度)にEMSを取得することを促進する。						
					□企画構想段階								
					□着手前	7.5(0)	7.7(0)						
						事業者排出量削減計画書制度	事業者排出量削減計画書制度						
						ウ予算額(うち国)百万円							
						エ決算額(うち国)百万円							
93	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	環境に配慮した観光の推進	京都において創出されたクレジットを活用し、京都観光に伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素型のエコ観光や、地域固有の自然環境・歴史文化を学び、体験する、歩いて巡る観光の推進や、環境に配慮したサービス・施設の促進などの普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				○見直し・充実		
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月) ○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月~) ※全コースマップの日英併記化を完了(9月)						
					□企画構想段階								
					□着手前	17.3(0)	22.852						
						ウ予算額(うち国)百万円							
						エ決算額(うち国)百万円							
94	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの推進	京都において創出されたクレジットを活用し、地域で開催される会議やイベントに伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素型イベントの普及を図ります。	□実施済み又は本格実施中	計画	○実施				○見直し・充実		
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月)						
					■企画構想段階								
					□着手前	14.2(0)再掲	19.252(0)再掲						
						ウ予算額(うち国)百万円							
						エ決算額(うち国)百万円							
95	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	京都市役所総排出量削減推進制度の創設	京都市役所におけるエネルギー管理を徹底し、事業部門別の温室効果ガス排出量の現状把握を行い、将来的な総排出量の上限を定める制度の導入を検討します。	□実施済み又は本格実施中	計画	○エネルギー使用量の詳細把握、制度検討	○本格実施				★京都市役所の温室効果ガス削減量(単年度値) 2010年度: 86,138トン 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:	
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○市役所本庁舎における省エネナビ(使用電力の「見える化」機器)の設置						
					■企画構想段階								
					□着手前	1.9(0)	1.9(0)						
						ウ予算額(うち国)百万円							
						エ決算額(うち国)百万円							

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進ちよく指標
96	1. ともともごみを出さない	すぐにごみになるものを「買わない・つくりたくない」	NOレジ袋の全市展開	市民、事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組を全市展開します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○平成23年度以前から実施				
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	4.6(0)	3.0(0)			
97	1. ともともごみを出さない	すぐにごみになるものを「買わない・つくりたくない」	レジ袋削減協定の拡大	レジ袋の使用を抑制し、マイバッグなどの持参を促進することを目的とした事業者、市民団体などとの協定の締結をさらに拡大し、レジ袋の大幅な削減を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○第6回レジ袋削減協定の締結(9月)				
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	0(0)	0(0)			★レジ袋削減協定締結数(累積値) 2010年度:14事業者 2011年度:15事業者 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
98	1. ともともごみを出さない	すぐにごみになるものを「買わない・つくりたくない」	ごみの減量と商店街の活性化を目指す「エコ商店街事業」	はかり売りやはだか売り、対面販売といった販売方法や、商店街の持つ地域力を活用したごみ減量などの取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○出町柳商店街におけるエコスタンプ事業(通年実施)				
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	0(0)	0(0)			
99	1. ともともごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	業者収集ごみの透明袋製の導入	資源ごみの分別・資源化と、ごみの適正排出を推進するため、京都市のごみ処理施設に搬入されるごみを対象に、民間業者(一般廃棄物許可業者)が収集するごみ袋を透明袋に限定する制度を導入します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を実施(9月末現在、展開調査6回及び簡易目視調査11回実施)				
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 21.6(百万円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 18.7(百万円)の一部			★回収拠点数(累積値) 2010年度: 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
100	1. ともともごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	チェーンストアなどへの事業系廃棄物の減量計画書制度の対象拡大	事業用大規模建築物の所有者を対象に義務付けている事業系廃棄物の減量計画書制度を、一定規模の食品関連事業者にも対象範囲を拡大し、幅広い指導を行います。	■実施済み又は本格実施中	計画	○対象拡大				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○対象となる食品関連事業者(44事業者838店舗)から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施(9月末現在5事業者を訪問)				
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	“廃棄物排出者指導業務 2.4(百万円)の一部”	廃棄物排出者指導業務 2.0(百万円)の一部			

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進捗指標	
101	1. そもそもごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	業者収集ごみ処分手数料の改定	ごみの減量や再資源化を促すため、ごみ処分手数料の段階的引き上げを進めます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○改定				○改定	
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○800円/100kgに引き上げ(4月~)					
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	0(0)	0(0)				
102	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進	ごみ減量に向けた事業者の具体的な取組方法などを分かりやすく情報提供します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施					
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(9月末現在598件) ○分別啓発パンフレットを活用した啓発を実施 ○三条会商店街においてワークショップを実施(第1回:9月) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆいけーしょん」を定期的に発行(2回 7,9月発行)					
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 21.6(百万円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 18.7(百万円)の一部				
103	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	クリーンセンターにおける搬入監視体制の強化と未分別資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施	クリーンセンターにおいて搬入監視を強化するとともに、分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否を実施します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施					◎市処理施設の廃プラスチック受入量(単年度値) 2010年度:4.6万トン 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○月2回以上の頻度で展開調査を実施					
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	0(0)	0(0)				
104	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	使用済てんぶら油などの回収拠点拡大	バイオディーゼル燃料の原料となる使用済てんぶら油の回収拠点の拡大を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施					★回収拠点数(累積値) 2010年度:1,577拠点 2011年度:1,610拠点 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度: ★使用済てんぶら油回収量(単年度値) 2010年度:193,172リットル 2011年度:99,699リットル 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大 ・1,610拠点(9月末実績)					
						ウ予算額(うち国):百万円 エ決算額(うち国):百万円	4(0)	34(0)				

No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011) ※上半期実績	平成24(2012) ※予算案の額	平成25(2013)	平成26(2014)	平成27(2015)	オ◎:削減効果指標 ★:進ちよく指標
105	2.ごみは資源、可能な限りサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	多様な資源物回収拠点拡大	土・日も開設する「より近い・より便利な」常設の資源物回収拠点の設置・拡大や、公共施設や商業施設における小型家電や携帯電話回収によるレアメタル※30などのリサイクルの推進を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★回収拠点数(累積値) 2010年度:68拠点 2011年度:86拠点 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○資源物回収拠点数(てんぶら油、小型家電など3品目以上の資源物を回収する拠点)86拠点(9月末実績)	199.807(0)	193.316(0)		
106	2.ごみは資源、可能な限りサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	地域ぐるみの生ごみ・落ち葉などの堆肥化の推進	農家と連携した生ごみの堆肥化による地産地消のモデル地域の構築や、学校や公園の落ち葉、家庭からの生ごみなどの地域単位での堆肥化を促進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★助成件数(単年度値) 2010年度:1件 2011年度:2件(1月現在) 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○生ごみの堆肥化支援 京北宇津地域(9月~), 京北山国地域(21年2月~)	29(0)	30.066(0)		
107	2.ごみは資源、可能な限りサイクル	「学生のまち、観光のまち」ならではの取組の推進	エコイベント実施要綱によるイベントなどのエコ化	イベントグリーン要綱に基づき、学園祭や地域のイベントなどのエコ化を推進することにより、次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★実施イベント数(単年度値) 2010年度:15イベント 2011年度:79イベント 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○リユース食器助成金制度の創設(4月)	8.4(0)	8.1(0)		
108	3.ごみは安全に処理して最大限活用	環境負荷を低減するごみの適正処理	ごみ処理施設の経済性に配慮した整備・運営	ごみの減量に応じて現行の4工場体制のクリーンセンターを3工場とするなど、経済性に配慮した長寿命化計画による施設の整備・運営を図ります。	□実施済み又は本格実施中	計画	○実施		○4工場→3工場		
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中	0(0)	0(0)		